



Chromebookで動作を撮影する



撮影した動画をGoogle Classroomで配信

活用場面

一斉学習

教師による教材の提示

個別学習

個に応じた学習

活用した機器等

Chromebook

活用したアプリ等

Google Classroom

Google Forms

カメラ機能

学習のねらい

ハンドボールにおける技能（パス及びシュート）について、映像から自他の動作を確認し、技能の習得に向けた課題発見、課題解決につなげる。

学習の流れ

導 入 ボールに慣れるためのハンドリング練習、パス練習（オーバーハンドパス、ラテラルパス）をペアまたはグループで行う。



展 開 2人1組で、パス交換からシュートの練習を行い、この場面における活動をChromebookのカメラ機能を使って撮影する。



ま と め 教員からの説明を聞きながら、パス、シュートのポイントを改めて確認する。
授業内に撮影した、パス交換からシュートの場面の映像を、Google Classroom内で確認し、自己のパスとシュートの動きについて振り返る。

ココでICTを活用！

Chromebookのカメラ機能を活用して、練習の様子を撮影し、生徒が自他の映像をいつでも確認できるようにすることで、課題の発見やより良い技能習得に向けた課題解決をめざすようにした。

今回、撮影した映像は授業後にGoogle Classroomに教員が投稿し、生徒に確認をさせることで、授業内での活動時間を確保するようになった。

また、映像とともに、Google Formsで振り返りを配付し、特にパス、シュートについて、自己の現状把握を促すようにした。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

それぞれの動きの映像を個人の端末、タイミングで確認することができるのは、学びの充実に繋がると感じた。今回、生徒が活動する映像のみを投稿したが、合わせて、ポイントを整理した参考動画等を投稿することで、それらの映像を生徒が比較し、より良い課題発見・解決に繋がるとは考えられる。

今回は、映像の確認や振り返りを授業外で行ったことから、授業外における生徒の負担が大きくなりすぎないようにする工夫も必要であると感じる。